

一号議案

I 基本事業

A・電話相談事業

1. CAPNA ホットライン

登録相談員数：36名

実施日時：月曜日～土曜日 11：00～14：00（年末年始を除く通年）

場 所：CAPNA 相談室

主な内容

- ・年間受信件数： 507 件
- ・虐待に関する相談電話は、全体の約 70%を占めている。
- ・子ども虐待に至る可能性のある育児不安相談は、全体の約 5%である。
- ・過去の被虐待相談が継続、かつ頻回約 7 割である。
- ・稼働相談員数が減少傾向であることが、最大の課題としてある。

2. ピアカンファレンス

実施日時：月に1回 2時間程度（各曜日グループで行う）

場 所：アレックスビル1階会議室

主な内容

- ・電話相談員事業の提案や検討事項などの意見交換
- ・電話相談員としての聴き方や対処方法、不安や疑問を相談し合い、今後の活動に活用
- ・研修会などに参加して得た知識・情報の共有

3. 電話相談員必須研修

テーマ：「面接の際に重視していること」

日 時：2021年3月21日（日）13：00～16：00

場 所：アレックスビル

講 師：中野有美氏（精神科医）

参加者：25名

4. 電話相談員養成講座

(1) 募集と応募者

2019年4月24日より「あなたのチカラを子どもたちの未来のために！」をキャッチフレーズに、第15期子ども虐待防止電話相談スタッフの募集を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大の為に中断をしていた養成講座を2021年3月から再開している。

第15期CAPNA相談員養成講座内 公開講座スケジュール

水：18：30～20：00 土：①13：00～14：30 ②14：45～16：15

月	日	曜日	内容	担当
3	27	土	メール相談概論	小出砂恵子 (CAPNA 理事)
			メール相談の実際 (返信作成作業)	
4	7	水	電話相談の実際 (ロールプレイ実習)	
	24	土	① 児童虐待と法律	多田元 (弁護士)
			② 児童虐待と自殺予防	兼田智彦 (CAPNA 理事・事務局長)
5	22	土	電話相談ケースカンファレンス	
6	26	土	認定式・CAPNA相談員としてのこれから親睦会	

B・CAPNA シェルター事業

主な活動

- *国際ソロプチミスト名古屋会議 **参加** 於：イーブル名古屋
- *6月 名古屋市子ども子育て支援会議 **出席** 於：イーブル名古屋
- *9月 名古屋市ドメスティック・バイオレンス懇談会 **出席**
- *11月20日「発達障がいとは何？」出席 於：イーブル名古屋
- *2月5日「DV被害者支援施設の実状を知る2020」開催
於：イーブル名古屋
- *3月3日 「CAPNA シェルター支援者会議」会議開催 於：東横イン
- *民間DV被害者保護団体との助成金申請会議 於：CAPNA事務局
参加団体：CAPNA・かけこみ女性センターあいち・RIN・のわみ 適宜開催

CAPNA シェルター事業報告

令和2年度 利用数5件(大人8名、子ども1名)

利用日数 延べ112日間

	受付先	経路	利用者	内容	判断	支援	支援結果
4月	事務局	機関	母、子	DV ケース	該当	利用せず	
4月	事務局	機関	高齢夫婦	引越しのため	非該当	利用せず	
4月	事務局	機関	母、10歳男、2歳女	DV ケース	該当	利用せず	
6月	事務局	機関	母、22歳女(児2名一時保護中)	DV ケース	該当	利用	14日間
9月	事務局	機関	母65歳、37歳女	DV ケース	該当	利用	6日間
9月	事務局	機関	19歳女	彼と元彼の争い	非該当	利用せず	
10月	事務局	機関	22歳女、17歳女	DV・性虐待ケース	該当	利用	31日間
12月	事務局	機関	46歳女	DV ケース	該当	利用せず	
12月	事務局	機関	40歳女	DV ケース	該当	利用せず	
1月	事務局	機関	母53歳、21歳女	DV・虐待ケース	該当	利用	48日間
3月	事務局	機関	母44歳、14歳女	DV・性虐待ケース	該当	利用	19日～

C・愛知県・名古屋市との協働

各市町・要保護児童地域対策協議会・サポート連絡協議会への出席

愛知県 稲沢市 犬山市 清須市 岡崎市

豊田市子どもにやさしいまちづくり委員 愛知県児童虐待予防対策委員会

名古屋市 (10/19) 千種区 (12/17) 東区 (9/14.7/13) 北区 (書面)

西区 (9/18) 中村区 (11/26) 中区 (11/30) 昭和区 (書面)

瑞穂区 (12/22) 熱田区 (7/15) 中川区 (書面) 港区 (7/30)

南区 (8/6) 守山区 (9/12) 緑区 () 名東区 (書面) 天白区 ()

その他連携

- ・名古屋市子ども子育て支援会議
- ・愛知県社会福祉審議会
- ・名古屋市DV防止懇談会
- ・全国養子縁組団体協議会
- ・子どもの家庭養育推進官民会議
- ・シェルター連絡協議会

D・広報・啓発事業

1・会報誌の発行

第100号(4月)、第101号(8月)、第102号(12月)

2・各種イベントへの参加

- ・在日米国商工会議所 チャリティウォークソンへの出展

日 時：2020年5月21日(日)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためWEBで開催

内 容：子ども虐待防止に関する広報活動

- ・スマイルこころの絆創膏デー2020 オンラインイベントの参加

2020年9月30日～12月10日配信

内 容：若者向け自殺対策イベント

・チャリティウォークソン寄付金贈呈式への参加

日 時：2020年10月27日

会 場：名古屋国際学園

・こころの健康フェスタ オンラインイベントの参加

2020年2月26～3月14日配信

メンタルヘルスに関する社会資源の広報に関するイベント

3・ホームページ

年数回ホームページを更新し、広く市民へ情報を発信した。

E・講師派遣事業

2020年度は4件の依頼があった

1・主 催：春日井市 こんにちは赤ちゃん訪問フォローアップ研修

・日 時：2020年12月23日 10:15～11:30

・場 所：総合保険医療センター 予防接種室

・テーマ：乳児家庭全戸訪問事業

・講 師：小久保 裕美

・対 象：55名

2・主 催：一宮市子育て支援課

・日 時：2020年11月9日 14:00～15:30

・場 所：体罰によらない子育てのやめに

・テーマ：子どもの健全育成

・講 師：小久保 裕美

・対 象：300名

3・主 催：公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

・日 時：2020年5月16日 10:00～12:00

・場 所：教育会館

・テーマ：虐待の現状と対応

・講 師：山本 秀樹

・対 象：40名

- 4・主 催 : 名古屋医療センター
- ・日 時 : 2021年1月14日 17:30~18:30
- ・場 所 : 名古屋医療センター内研修室
- ・テーマ : 多機関連携
- ・講 師 : 小久保裕美
- ・対 象 : 医療従事者 80名

F・メール相談事業

民間ネットワークとの連携事業

(CAPNA・せんだいCHAP・子ども虐待防止みやぎの会)

- ・通年の事業としてスタッフ21名で実施
- ・年間受信件数 1,114件
- ・メール相談は受信件数が増えていて、電話相談が苦手だったり、かけたい時間に利用できなかつたりなどの理由が見受けられる。10代を中心とする若者にとって、メールは日常生活と切り離せないものであり、自分の心のSOSを手軽に発信できるツールでもある。また、ネット社会のコミュニケーションツールとして、海外から寄せられる相談もある。

II 委託事業

G・愛知県・名古屋市との連携強化事業

愛知県児童虐待防止対策セミナー

- (1) 実施日: 2021年2月25日~2月28日まで4日間
- (2) 参加人員: 事前申込者 306人 アンケート回答者 157人
- (3) 実施状況 Web研修会

・テーマ:

講演「多機関連携による性的虐待への対応と課題」

・講 師: 坂本 理恵

(名古屋第二日赤 病院 性暴力救護センター 日赤なごやなごみ

医療社会事業係長 医療ソーシャルワーカー)

・内 容: 児童相談所における児童虐待対応件数の中での性的虐待について紹介。

また日赤なごやなごみでの来所者の年代別・性別の割合、加害者別・被害者別の統計等を紹介。

ワンストップセンターとは何か、現在の国の法改正についての知識を共有した後、具体的な事例を交え講義を行った。

性被害者に対するケア（身体的・精神的）の重要性、各機関（医療・相談窓口・自立支援・教育機関等）の役割や連携のあり方についても触れ、どのような関りや連携が有効だったか、また連携における成功事例、失敗事例を紹介した。

名古屋市児童虐待防止研修会

(1)実施日：2021年2月25日～2月28日まで4日間

(2)実施状況 Web研修会

(3)対象者：市町村児童福祉・母子保健等担当職員、児童相談所職員、保健所職員、児童福祉施設職員、保育関係者、幼稚園関係者、学校関係者、民生児童委員・主任児童委員等

(4)申込人数 申込者 402名 アンケート回答者 177名

(5)実施状況

テーマ：DVと子ども虐待

講師：杉山 春（ルポライター）

内容： 近年児童虐待対応件数は右肩上がりである。

DV（ドメスティック・バイオレンス）による子どもへの心理虐待、警察からの児童相談所への通告、連携という形で今までは水面下でSOSを出せなかった、支援に繋がらなかったという様な子ども達、被害者である母親への支援に繋がるようになった。

長年ルポライターとして様々な児童虐待に関するリサーチをしてきた中でDVと子ども虐待、その時代背景や加害者・被害者の成育歴、地域との関係、様々な機関との関係性などの詳細を実際にあった事件を基に解説いただいた。その中で講師が感じた多機関の連携についての課題等を参加者と共有し今後の活動の一助とした。

H・名古屋市から委託を受けている土日祝日専用の電話相談事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受信件数	25	36	25	19	23	32	21	28	15	18	28	19	289件

I・名古屋市こころの健康（夜間・土日）無料相談事業

(1) 目的：うつ病や精神疾患等を抱える利用者に悩みの解決に向けた支援や情報の提供などを行い、自殺の防止を図る。

(2) 実施方法：名古屋市内中心部での面接を行うための電話受付・面接補助を行う。

(3) 処理内容、件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
受信件数	80	70	70	104	126	113	117	82	40	83	84	132	1,101件
面談実施回数	3	4	4	7	8	10	5	8	4	5	6	6	102回

J・うつ病家族教室の開催

第1回目「うつ病と付き合い方」

(1) 日時：2021年3月2日(火) 18時～20時30分

(2) 会場：ウィルあいち特別会議室

(3) 講師：吉井浩子氏

(桶間病院藤田こころケアセンター 精神保健福祉士)

宮川省吾氏

(訪問看護ステーション アイリス日進 訪問看護師)

(4) 参加人数：12名

第2回目「うつ病を理解する」

- (1) 日時 : 2021年3月13日(土)13時30分～16時00分
- (2) 会場 : ウィルあいち特別会議室
- (3) 講師 : 竹内浩氏
(名古屋第二赤十字病院 精神科部長)
庭野智美氏
(訪問看護ステーション和快 訪問看護師)
- (4) 参加人数 : 24名

K・新型コロナウイルスこころのケア相談事業

- (1) 目的 : 新型コロナウイルス感染症による経済活動や社会生活への影響が拡大している状況を踏まえ、相談体制の強化を目的として平日の時間外において専用の電話相談窓口を設置し、精神保健上の支援(心のケア)を実施する。
- (2) 相談実施日 : 令和2年5月12日～令和3年3月31日(継続中)
- (3) 相談体制 : 専用電話回線を設置し、相談実施日に職員1名を配置。
- (4) 相談件数 : 241件

Ⅲ 助成金事業

L・赤い羽根共同募金配分事業

- 1 電話相談およびメール相談事業
 - ・電話・メール相談員を養成、虐待に悩む市民からの相談に応じた。
(10回)
 - ・電話・メール相談員の研修を行い、スキルの向上とケアを行った。
(10回)
 - ・電話・メール相談員のための研修として、ケースカンファレンスや情報共有のためのオンライン会議を開催した。
- 2 市民講座
児童養護施設におけるあらゆる暴力をなくすために、安全委員会方式の啓

発普及を目的とした研修会を開催する予定であった。

しかし、コロナ禍のため密を避けるため対面による研修会の開催ができなかった。

3 啓発資料の作成

研修会が開催できなかったため、安全委員会方式の理念、立ち上げの手順、取り組みの手順、実践の紹介等を盛り込んだリーフレットを作成した。

併せて、CAPNA の活動案内のチラシ・カードを作成し、普及・啓発活動に取り組む。

M・コロナ禍で表出したDV被害者母子・若年女性のための緊急宿泊

事業

(ゴールドマン・サックス緊急子ども支援基金事業)

(1) 目 的 : 土日祝・又はその前日に緊急で宿泊場所が必要な DV 被害者・若年女性を対象に宿泊場所を提供し、開庁日までの安心・安全な場所を提供した。

(2) 期 間 : 令和 2 年 11 月 15 日～令和 3 年 3 月 31 日

IV その他事業

N・安全委員会方式研修会

赤い羽根共同募金配分事業の助成を受け、研修会を開催する予定であったが、コロナ禍の中、密を避けるため対面による研修会の開催は出来なかつた。

さらにオンラインによる開催を試みたが講師の都合等により、実現できなかった。

リーフレットの作成

「子どもたちに安心・安全な暮らしを 2021 ～施設内暴力・性暴力の防止に向けて・安全委員会方式の手引き～」と題して、安全委員会方式の理念、立ち上げの手順、取り組みの手順、実践の紹介等を盛り込んだリーフレットを作成した。

今後、リーフレットを活用して啓発、普及活動を進めていく。